

始まった。来場者は福祉施設、高齢化社会の中で誰もが直した講座を開く。(細川善弘) 福井市が選ばれた。刑事

開幕まで残り700日を切った2018年福井国体に向け、競技団体の決起大会や関連イベントが6日、福井市内で開かれた。故郷での活躍を誓う候補選手、大会成功へ氣勢を



上げる運営スタッフ、競技体験を楽しむ子どもたち。参加者はそれぞれの立場で、徐々に高まってきた大会ムードに浸った。

高まるムード弾む心

県テニス協 結束固め

福井で決起大会

県テニス協会は、テニス競

技の決起大会を福井市のアオッサで開き、競技関係者約100人が大会の成功と全4種類の県勢優勝を目指して結束を固めた。スムーズで分かりやすい競技運営に向けた国体初の取り組みとして、試合状況をほぼ同時進行で専用ウェブページに公開することを決めた。テニス競技は18年9月28日、10月3日、福井市の福井運動公園(少年男女)と市わかばコート(成年男女)の2会場で行われる。ウェブページでは両会場の試合状況をまとめて発信し、各選手のプロフィールも紹介。選手やスタッフ

試合状況ネット配信へ

が情報共有して進行を円滑化するとともに、ファンに大会をより深く楽しんでもらう。ウェブシステムは来春ごろ完成予定で、国体のプレ大会と位置付ける来年7月の全日本都市対抗テニスから本格運用を目指す。

決起大会では、県テニス協会の安間保行会長が「一致団結して国体をぜひ成功に導きたい」とあいさつ。国体実行委の各担当者からは、会場整備や強化事業の経過が報告された。候補選手の中から、仁愛女高時代に高校3冠を達成した成年女子の林恵里奈さん(早稲田大4年)が出席。「皆さまのご支援があって、思う存分テニスをやってこれた。福井県の代表として優勝を目指し、幸せと元気を伝えられるプレーができるよう頑張りたい」と力強く抱負を述べた。マスコットキャラクター「はぴりゅう」とともに、出席者全員で「ガンバロー」を三唱し、本番に向けた一致団結を誓った。(細川善弘)



2018年福井国体の成功に向けガンバロー三唱で気合を入れるテニス競技関係者。6日、福井市のアオッサ

「はぴりゅう」とともに、出席者全員で「ガンバロー」を三唱し、本番に向けた一致団結を誓った。(細川善弘)

「しあわせ元気国体」決起大会
テニス協会、福井市テニス協会